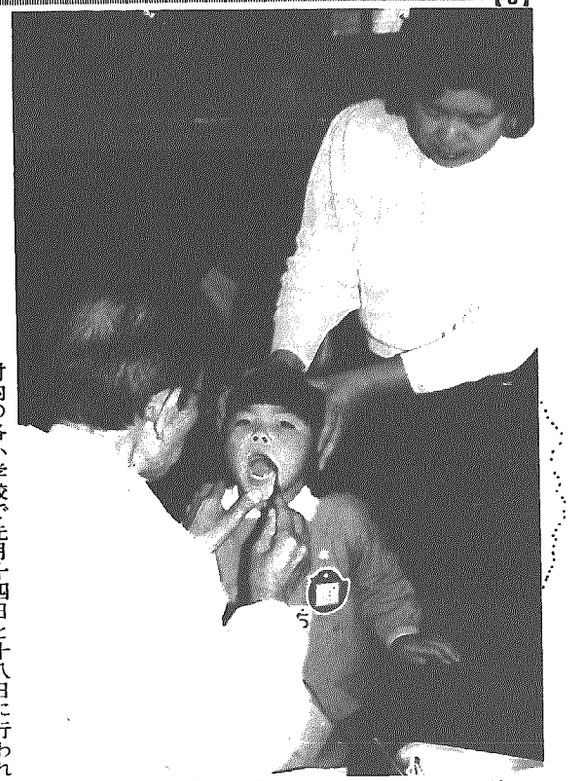
ハイ、大きく口をあけて

就学前児童の健康診断

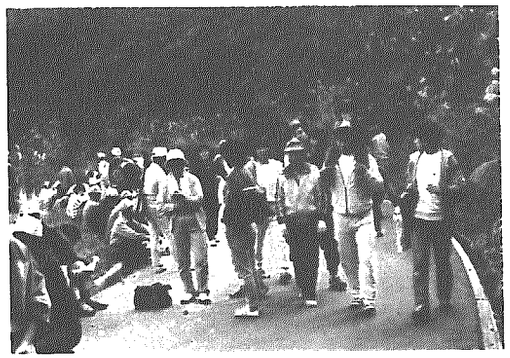
村内の各小学校で先月十四日と十八日に行われました。新一年生は百四十四人で、今年より十七人増となっています。

健康診断は内科や歯科のほか、視力や聴力検査、それに簡単なテストを行い、学校生活への適応を調べます。虫歯など入学前に治さなければならないところをチェックしますが、虫歯が相変わらず多いといいます。

和納小学校では、昼過ぎから健康診断。来春の新入学児は今年より十人多い七十九人。子供たちは、初めての学校とあって、お母さんと離れて行われた健康診断に心細そうな表情を見せていましたが、六年生のお姉さんたちの世話に安心、行儀よく校医さんの診断を受けていました。また、健康診断と併せ、父母には入学前の準備などについて学校側から説明があり、終わって子供たちと一緒に校内を見て回る姿も多かった。



ハーイ、大きく口をあけて！



紅葉いっぱい汗さわやか…

「村民歩け歩け大会'86」が先月九日、岩室の丸小山広場、林道岩室金池線を会場に開かれ、約四百人の参加者が小春日和に恵まれた〝最高の秋〟を満喫しました。今年のコースは昨年の逆コース。午前九時に丸小山広場を出発した参加者は、石瀬の種月寺、青龍寺から林道コースへ。参加者には子供連れや家族連れに交じって元気な熟年夫婦の姿も目立ち、色づいた木々を見ながらさわやかな汗を流していました。

冬でも出来るゾ、ゲートボール

お年寄りのゲートボール熱は高まる一方ですが、運動不足になりがちな冬期間に練習できないのが悩み。そこで村では「冬でも屋内で試合や練習をしたい」との要望を受け、二面分のゲートボールマットを購入。先月13日、このマットのお披露目を兼ね、村民体育館でオープン記念試合を行いました。村長らの初打球でオープン後、38チーム 400人の愛好者が土とは違った感触を味わいながら、熱戦を繰り広げました。

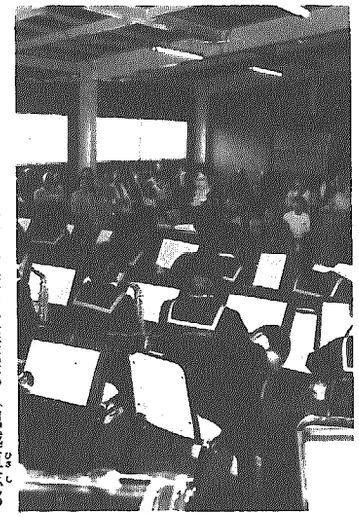
いい顔、ありがとう

中央保育園「やきいも大会」から（11月17日）

●この広報紙にあなたが写っていましたら、総務課企画係（☎82四一一一内線二一五）へご連絡ください。写真をさしあげます。

「リハビリがんばって」と演奏会

岩室中学校生徒会と吹奏楽部が岩室温泉病院を慰問



「みなさん、早く退院できるよう頑張ってください」と演奏する生徒

岩室中学校の吹奏楽部（堀越恒志部長・部員四十四人）が先月二十一日、リハビリ（機能回復訓練）施設を持つ新潟県労働衛生医学協会附属岩室温泉病院を訪れ、音楽活動による入院者の慰問を行いました。

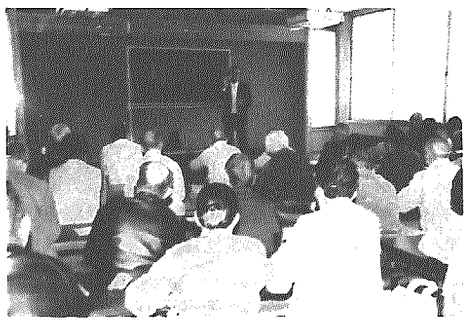
この慰問は昨年から始まったもので今年で二回目。この日は午後三時の開演に会場の講堂には約百二十人の入院患者や職員が集まり、お年寄りにも親しめる曲をと、部員らが選曲した「お江戸日本橋」や「ドンパン節」の日本民謡メドレーや「たき火」「冬景色」などの子供の四季のうたがメドレーで次々に披露されました。「みんなうまいね。とっても楽しいです」と手拍子を打ちながら話すおばあちゃんに、参加した吹奏楽部のメンバーも「みなさんに喜んでもらって、とってもうれしい」と熱演を続けていました。

また、生徒会から文化祭バザーの収益金で購入した赤いカーネーションが入院患者（約百八十人）一人ひとりに手渡たされ、心温まる交流を深めました。

まちのボランティア

ボランティア兼ねゲートボール審判員めざす

婦人会のメンバーが挑戦



お年寄りに人気のゲートボール。プレーを楽しむ人が多い割には、審判ができる人となるとこれが以外に少ない。岩室村婦人会のメンバーがボランティアを兼ね、ゲートボール審判員目指していまアタックしています。

岩室村には現在四十四のゲートボールチームがあり、郡内でもトップクラスのチーム数といわれます。四百人を超えるプレイヤーに対して審判資格（三級）のある人は十二人。なんと三％にすぎません。ちょっとよそのチームと対外試合をしたくても審判がいないのでは実戦的な練習にならないと悩むチームも多い。そこで婦人会のメンバーがいま、ゲートボール審判員の資格をとるため、ルール説明会などに積極的に参加しています。

先月十八日に公民館で開かれた「ゲートボール連盟審判講習会」の参加を皮切りに、「自分たちも実際にやらないとルールもマスター出来ない」と実技も練習中とか…。

「審判試験に合格しないとはずかしいから、名前は出さないで」という、たっての要望のため、今回は名前をお知らせしませんが、資格を取得し、お年寄りとともにプレーに審判に活躍する日が来ましたら、またご紹介したいと思います。